

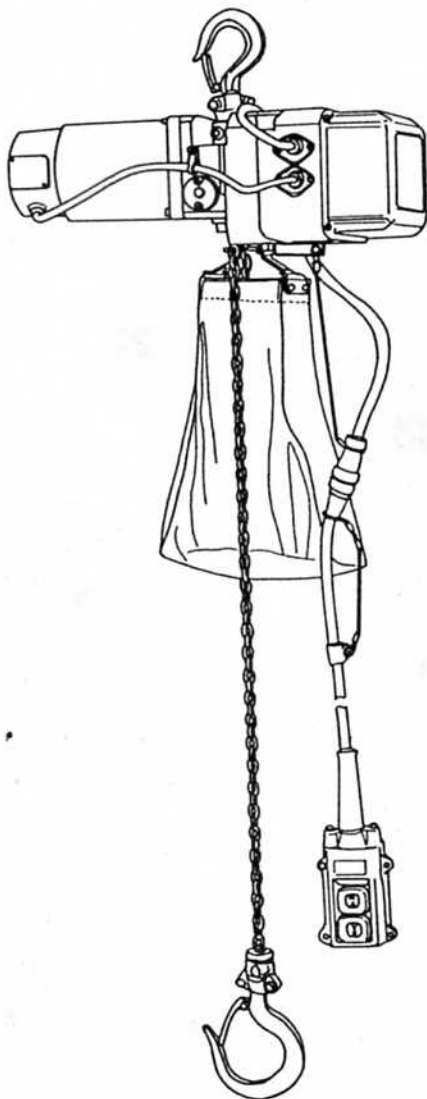
RYOBI®

電動チェーンブロック

RCB-200

取扱説明書

ご使用前に、本取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用くださいますようお願いいたします。

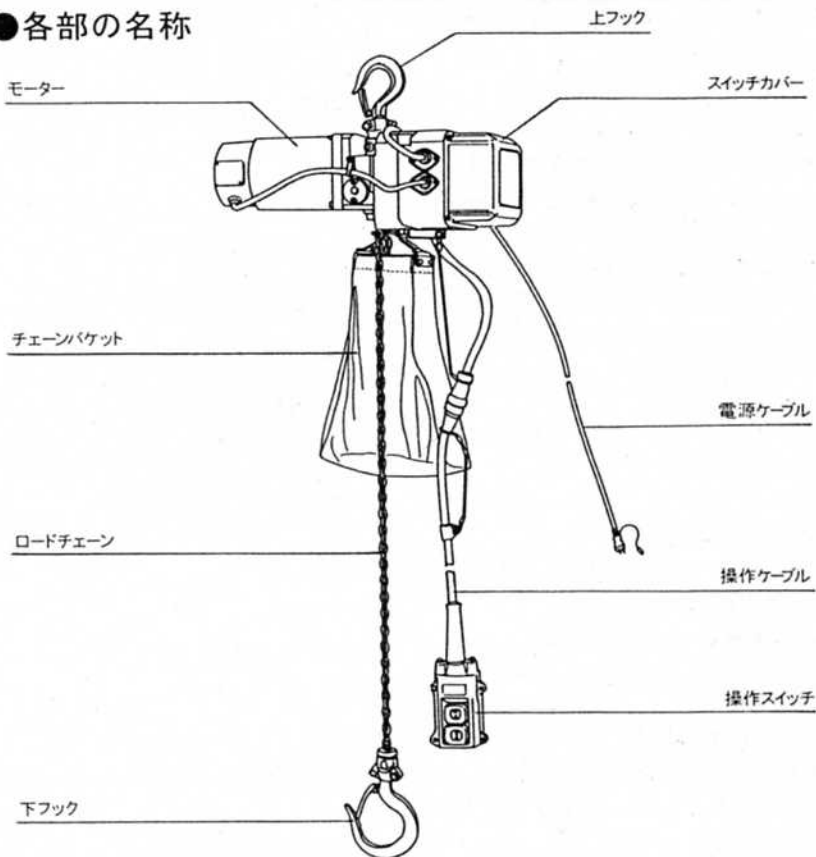


●ご使用に当りましての注意事項

電動チェーンブロックをご使用いただく前に、必ず取扱説明書を十分お読みいただき、指定された用途以外にはご利用にならないで下さい。

- 雨中でのご使用は、モーターなど電装保安の為、避けて下さい。
屋外でご使用になる時は、防雨カバー等を付けて下さい。
- 電動チェーンブロックは確実な場所へ、確実に設置してご使用下さい。
- 最大荷重は200kgです。これ以上の荷重は保安上からも絶対にしないで下さい。
- フックには、正しく荷をかけて下さい。
捲揚げる前には、必ず荷のかかり具合を点検して下さい。
- 捲揚げ中は、荷を他のものにひっかけないよう、注意して下さい。
- 1個の荷を、2台の電動チェーンブロックで同時に吊り上げることはさせて下さい。
荷のバランスがくずれたりして、思わぬ事故の原因となります。
- 異常な横引きは、電動チェーンブロックを損傷し、故障や事故の原因となります。
- 捲揚げのとき、荷をチェーンバケットに当てないで下さい。
バケットの破損や、チェーンの流れが悪くなったりして、故障の原因となります。
- 運転中は、可動部に手を触れないで下さい。
大変危険です。
- チェーンやフックに熱を加えたり、衝撃や振動を与えると故障の原因になります。
また化学薬品等による腐蝕にも注意して下さい。
- チェーンやフックには、時々ギヤオイルを塗付して下さい。
- 電源の電圧は、銘板の表示と一致しているか、必ず確認して下さい。
高電圧で使用しますと、高速回転となり危険です。
また、モーター焼損の原因ともなります。
低電圧では、逆に力不足から捲揚げができなかったり、加熱故障の原因となります。
- 操作スイッチの押ボタンの操作は確実にこなして下さい。
- 操作スイッチの付いている操作ケーブルを無理に引張らないで下さい。
断線の原因になります。
- 安全な作業をする為には、作業場の整理整頓に心掛けて下さい。
また作業場は十分な明るさを確保して下さい。
- 作業中に荷の下を通ったり、荷の下での作業は絶対に行なわないで下さい。
大変危険です。
- 作業場所には、作業関係者以外は近づけないで下さい。
特に小さいお子様は危険です。
- 製品は大事に取扱って下さい。誤って落したり、ぶついたりしたときは、必ず異常がないことを確認してからご使用下さい。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気付いたときは、ただちに使用を中止して下さい。
- 整備点検、部品の交換の際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
また必ず手の届く位置へ機械を降ろして行なって下さい。
- 安全で能率よい作業をしていただく為には、作業前の機械の点検と定期点検が必要です。
点検は、お買い求めの販売店もしくは最寄りのリョービ販売営業所にお問い合わせ下さい。

●各部の名称



●仕様

電源	100V・50/60Hz
モーター出力	600W (定格15分)
定格荷重	200kg
揚程	20m
捲揚速度	高速15m/分・低速1.5m/分
安全装置	トルクリミッター
制動装置	メカニカルブレーキ
潤滑装置	オイル (350cc.)
ロードチェーン	種類T-4 (JIS B 8812)
電源ケーブル長さ	5m
操作ケーブル長さ	19m
自重	22.5kg

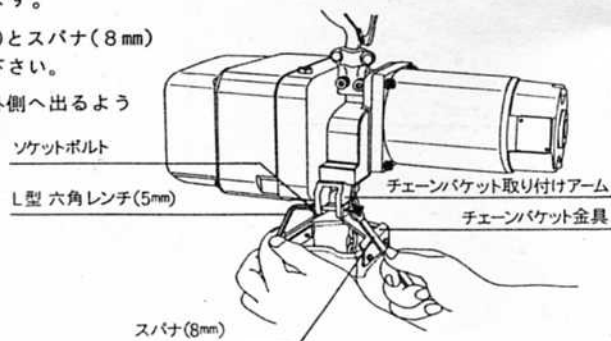
●ご使用前の準備

●チェーンバケットの取り付け

チェーンバケット取り付けアームにチェーンバケットの金具を合わせます。ソケットボルト2本を通し、ナイロンナットで締付け、固定します。

※付属のL型六角レンチ(5mm)とスパナ(8mm)を別に用意して、締付けて下さい。

※チェーンバケットの下端が外側へ出るように取り付けして下さい。



●ロードチェーンへの塗油

ロードチェーンには、油を必ず塗って下さい。

チェーンの寿命が長くなります。油はギヤ油が適当です。

●配線

- 電源ケーブルは右記のものを使用しています。

2.0mm²×3芯×5m、
プラグ・アース付

電源接続の際は、確実にアースをとって下さい。

- 電源の容量は安全のため、15A以上を確保して下さい。
- 電源から離れたところで使われる場合は、電圧降下による捲揚不能や、モーター焼損の原因となることがありますので、十分な容量のあるキャブタイヤケーブルを継ぎ線として準備して下さい。

2.0mm²以上の
キャブタイヤケーブル

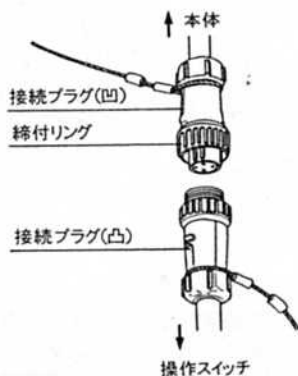
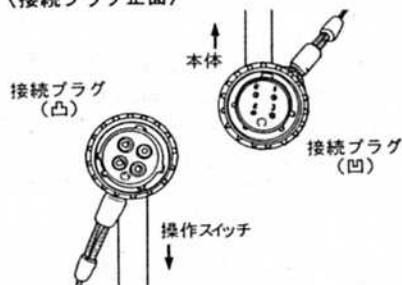
●操作ケーブルの接続

- 本体から出ている操作ケーブルの接続プラグ(凹)に操作スイッチの付いたケーブルの接続プラグ(凸)を差し込み接続します。

接続プラグ凸側の軸側面の突起を凹側の内側面の溝に合わせ挿入します。
次に凸側の外にあるリングを廻し、締付けて、接続を完了します。

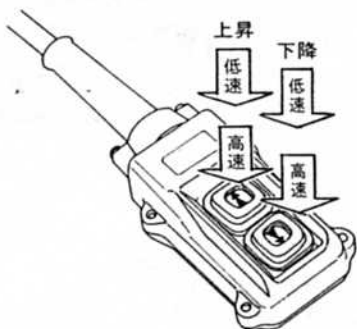
※ケーブルの脱落防止のため、必ずリングを廻し締付け、固定して下さい。

〈接続プラグ正面〉



●スイッチの操作方法

- 上矢印のボタンを押すと上昇します。
下矢印のボタンを押すと下降します。
ボタンスイッチは、2段押込形となっています。
軽く押した状態で低速、深く押した状態で高速となります。



●取扱い上の注意

●フリクション式過巻防止装置の取扱い注意

本捲揚機には、従来のリミットスイッチ式過巻防止装置と異なる、フリクション式（スリップ機構）過巻防止装置を内蔵しています。
使用に際しては、下記の点を守って下さい。

1). 過負荷を吊らない。

荷は定格荷重以内のものとして下さい。

フリクション式過巻防止装置は、過負荷を検出するものではありません。

設定スリップトルクに近い過負荷をスリップさせながら捲揚げると、荷が落下したり、捲降ろせない場合があります。

2). 必要以上の作動をさせない。

捲揚げ捲降ろしのエンドでは、フリクション式過巻防止装置が作動し、停止しますがモーターは空転をしています。

荷が停止しましたらスイッチから指を離して下さい。

この状態を長く続けると、装置の性能低下や各部分に悪影響がありますので避けて下さい。

3). 設定値の調整をしない。

フリクション部のトルク設定は出荷時に調整をしています。

独自に設定値の変更をしないで下さい。

誤動作の原因となり危険です。

●定格時間内での使用

モーターの定格時間内でご使用下さい。

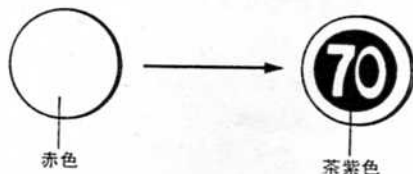
無理な使い方は、モーター寿命を低下させたり、本体内のヒューズ切れから作動不能になることがあります。

●モーター過熱警告

モーターケースに温度上昇を示すサーモラベルを貼付けています。

ラベルの色が変わり、70の表示が出て来ましたらモーター過熱を表していますので、休ませて下さい。

※ラベルの地色が赤に戻るまで休ませて下さい。

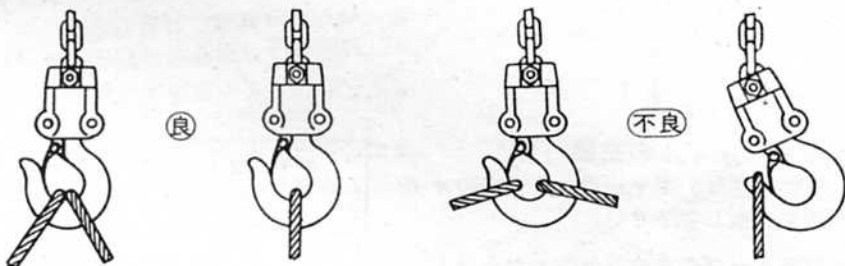


●過度のインチング操作の禁止

操作スイッチの上昇、下降ボタンを短い時間内でくり返す（インチング操作）ことは、異常電流がモーターに流れ、故障の原因となりますので避けて下さい。

●一般荷役についての注意

- 1). 作業中に荷の下をくぐったり、荷の下での作業は絶対に行なわないで下さい。
- 2). フックには正しく荷をかけて下さい。



- 3). 捲揚げ中の荷を、他のものにひっかけたり、ぶつけないよう注意して下さい。
バランスがくずれたり、思わぬ振動や衝撃から事故の原因になることがあります。
- 4). 操作スイッチの押ボタン操作は確実にこなして下さい。
- 5). 操作ケーブルを無理に引張らないで下さい。
- 6). 1個の荷を2台の電動チェーンブロックで同時に吊上げることはさけて下さい。
- 7). 異常な横引きは危険ですので、さけて下さい。
- 8). 屋外で使用する時は防雨カバー等をつけて下さい。
雨中での使用は危険ですからさけて下さい。

●ご使用後の手入れ

- 日常作業終了後は電源スイッチを必ず切って下さい。
電源スイッチが無い場合は、必ず電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 荷を吊ったままで放置しないで下さい。
- ロードチェーンの油気が切れないよう点検し、油を時々塗って下さい。
- 屋外で使用した後は、必ず格納して下さい。
放置しますと降雨や夜露などでカバー内に水が入ったり、錆発生の原因になり、故障に結びつきます。

●メンテナンス

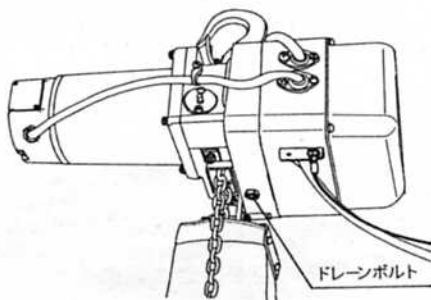
●ギヤーオイルの交換

年に一度は、ギヤーボックス内のオイルを交換して下さい。

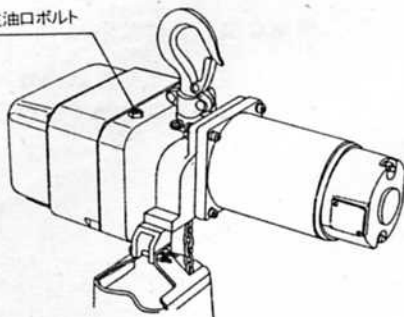
- ・電源ケーブルをコンセントから外して行なって下さい。
- ・楽に手が届くところまで電動チェーンブロックを降ろして下さい。
- ・ギヤーケース下にあるドレーンボルトの下に廃油受けを用意してからドレーンボルトをゆるめ、外します。
- ・注油口のボルトをゆるめ、外します。

※注油口のボルトをゆるめると、一気にドレーン口から古いギヤーオイルが流れ出て来ます。

ギヤーオイル
専用オイル 350cc



注油口ボルト



- ・古いギヤーオイルの流出が停止してからドレーンボルトを締付け、注油口から新しいギヤーオイルを入れて下さい。

●カーボンブラシの交換

時々モーター部にあるカーボンブラシを点検して下さい。

カーボンブラシ保護パネルを止めている2本のネジをゆるめ保護パネルを取り外します。

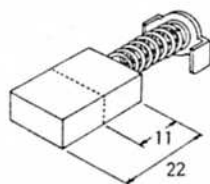
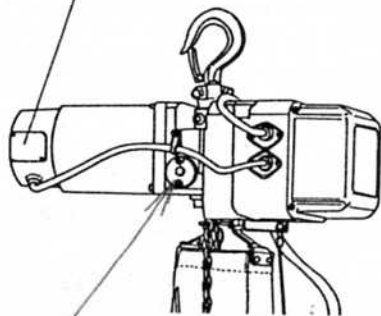
次にカーボンブラシキャップをゆるめると中にあるカーボンブラシは簡単に取り出せます。

カーボン部分に欠けや割れがないか、長さは充分かどうかを点検して下さい。

長時間の使用によりモーターのカーボンブラシは消耗します。

全長の $\frac{1}{2}$ 近くまで消耗しましたら、早めに新しいカーボンブラシと交換して下さい。(2個とも交換します。)

カーボンブラシ保護パネル (左右2ヶ所)



○トルク調整用のネジ(四角形)

※ このネジがゆるむとクラッチが回へり
空回りする(モーターは動くが、チェーンが動かない)

※ チェーンを いっぱいに巻き上げた場合も
空回りする場合があるが、この時も、このネジを
締め込んでやり、50kgぐらいの荷を吊りして
Ⓢ Fのボタンを押す。

何回まわしたか
おぼえておく
F-7

●故障の原因と対策

状 況	原 因	対 策
動かない	1. ヒューズ切れ（本体内部） 2. カーボンブラシの摩耗 3. ケーブルの断線 4. 制御器の故障 5. モーター焼損 （使いすぎ） 6. 電源不良	1. ヒューズを交換する。 〈20A〉 ●本体スイッチカバーの裏側に予備 ヒューズが1個入っています。 2. カーボンブラシを新しいもの に交換する。 3. 電源ケーブルまたは、操作ケ ーブルを交換する。 4. 正規品と交換する。 5. モーターを交換する。 ※以降、使いすぎないように注意する。 6. 電源を調べ、正規の電圧がか かるようにする。
昇降速度が遅い	1. 過負荷を吊っている 2. カーボンブラシの摩耗 3. 電源不良 4. フリクション部のスリップ	1. 荷を減らし定格荷重以内とす る。 2. カーボンブラシを新しいもの に交換する。 3. 電源を調べ、正規の電圧がか かるようにする。 4. フリクション部を交換する。
停止距離が長い	1. ブレーキ用ライニング摩耗 2. 制御器ブレーキ抵抗の劣化	1. ブレーキ部を交換する。 2. ブレーキ抵抗を交換する。
異音がする	1. ロードチェーンの摩耗 2. ロードチェーンの錆 3. モーター性能の劣化	1. ロードチェーンを交換する。 2. ロードチェーンの錆を取り除 き注油する。 3. モーターを交換する。
感電する	1. 接地不良 2. 制御部への浸水・結露	1. アースを確実にとる。 2. 乾燥させる。

● リョービ販売株式会社 営業所一覽

- 北海道営業部 番003 札幌市豊平区平岸7条14-3-48 ㊟(011)841-9241 ファクシミリ (011)812-3752
- 札幌営業所㊟(011)812-3751 ●北海道用具営業所㊟(011)841-2003 ●函館営業所㊟(0138)49-4988
- 旭川営業所㊟(0166)32-8561
- 東日本統括本部 番101 東京都千代田区外神田3-15-1 ㊟(03)3257-1606 ファクシミリ (03)3257-1607
- 東北営業部 番983 仙台市若林区卸町東3-1-1 ㊟(022)288-8069 ファクシミリ (022)288-1510
- 仙台営業所㊟(022)288-8061 ●青森営業所㊟(0177)81-2777 ●盛岡営業所㊟(0196)46-8911
- 秋田営業所㊟(0188)63-4177 ●山形営業所㊟(0236)42-9552 ●郡山営業所㊟(0249)59-2670
- 東北H.I.営業所㊟(022)288-1495
- 北関東営業部 番323 栃木県小山市神鳥谷288 ㊟(0285)24-7962 ファクシミリ (0285)24-7670
- 小山営業所㊟(0285)24-7962 ●宇都宮営業所㊟(0286)24-6862 ●茨城営業所㊟(0299)24-2631
- 太田営業所㊟(0276)46-8716 ●前橋営業所㊟(0272)54-0022
- 東関東営業部 番114 東京都北区豊島5-2-8 ㊟(03)3927-5571 ファクシミリ (03)3927-6153
- 東京北営業所㊟(03)3927-5252 ●東京神田営業所㊟(03)3255-2905 ●埼玉営業所㊟(048)624-4605
- 国立営業所㊟(0425)74-8131
- 西関東営業部 番241 横浜市旭区上川井町436 ㊟(045)921-5252 ファクシミリ (045)921-4104
- 横浜営業所㊟(045)921-5252 ●厚木営業所㊟(0462)48-6724 ●千葉営業所㊟(0472)32-4311
- 柏営業所㊟(0471)76-3671
- 関東H.I.営業部 番331 埼玉県大宮市大字中釘2074 ㊟(048)622-3177 ファクシミリ (048)622-3178
- 東部H.I.営業所㊟(048)622-3177 ●神奈川H.I.営業所㊟(0462)48-6720 ●千葉H.I.営業所㊟(0471)76-3681
- 西多摩営業所㊟(0426)51-9611
- 東海営業部 番485 小牧市小木東2-1-2 ㊟(0568)75-6761 ファクシミリ (0568)75-7607
- 名古屋営業所㊟(052)762-0924 ●小牧営業所㊟(0568)75-6781 ●三河営業所㊟(0564)25-2381
- 岐阜営業所㊟(0582)71-5538 ●四日市営業所㊟(0593)31-3426 ●松阪営業所㊟(0598)51-9022
- 静岡営業所㊟(054)246-6907 ●浜松営業所㊟(053)441-3360 ●沼津営業所㊟(0559)76-4560
- 北信越営業部 番920 03 金沢市秋田西2-1-55 ㊟(0762)68-8320 ファクシミリ (0762)67-5292
- 新潟営業所㊟(025)275-3321 ●長岡営業所㊟(0258)32-0856 ●富山営業所㊟(0764)22-1920
- 金沢営業所㊟(0762)68-7516 ●福井営業所㊟(0776)21-4037 ●長野営業所㊟(0262)44-3595
- 松本営業所㊟(0263)26-8699
- 関西営業部 番569 高槻市今城町24-1-2 ㊟(0726)81-3711 ファクシミリ (0726)81-3773
- 大阪営業所㊟(0726)81-3661 ●神戸営業所㊟(078)924-8050 ●東大阪営業所㊟(06)912-7731
- 京都営業所㊟(075)612-5011 ●和歌山営業所㊟(0734)72-8074 ●姫路営業所㊟(0792)88-0755
- 福知山営業所㊟(0773)27-0533 ●滋賀営業所㊟(0748)36-7846 ●奈良営業所㊟(07436)4-2721
- 堺営業所㊟(0722)70-1556 ●西部H.I.営業所㊟(0726)81-3771
- 中国営業部 番736 広島市安芸区船越南3-7-29 ㊟(082)823-0310 ファクシミリ (082)823-4180
- 広島営業所㊟(082)823-1733 ●千代田営業所㊟(082672)-5321 ●岡山営業所㊟(0862)41-2581
- 福山営業所㊟(0849)43-5656 ●防府営業所㊟(0835)22-6448 ●米子営業所㊟(0859)34-7271
- 鳥取営業所㊟(0857)22-1071
- 四国営業部 番791-11 松山市井門町54-1-0 ㊟(0899)56-3992 ファクシミリ (0899)57-0986
- 松山営業所㊟(0899)56-3330 ●高松営業所㊟(0878)65-8101 ●高知営業所㊟(0888)66-2628
- 徳島営業所㊟(0886)25-9770
- 九州営業部 番811-23 福岡市外粕屋町柚須107-1 ㊟(092)623-5008 ファクシミリ (092)623-5623
- 福岡営業所㊟(092)623-5010 ●久留米営業所㊟(0942)44-1615 ●北九州営業所㊟(093)561-7206
- 佐賀営業所㊟(0952)26-5656 ●熊本営業所㊟(096)365-7311 ●大分営業所㊟(0975)21-3308
- 宮崎営業所㊟(0985)24-1070 ●鹿児島営業所㊟(0992)54-5743 ●長崎営業所㊟(0958)39-5466
- 沖縄営業所㊟(098)875-2850

(お断り)

所在地、電話番号が変更になることがあります。予めご了承ください。

(1991年11月現在)

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い
上ご不明の点があった場合にはご遠慮な
くお買い求めの販売店もしくは最寄りの
リョービ販売各営業所にお問い合わせ下
さい。

※改良のため製品仕様の変わる事があります。

発売元



リョービ販売 株式
会社

RYOBI



リョービ 株式
会社

RYOBI